

「新庁舎建設に関する地区別説明会」の質問・意見等の記録

【会場：札内北コミュニティセンター】

1	日 時	平成23年11月2日（水） 19:00～21:37
2	会 場	札内北コミュニティセンター 集会室
3	参 加 者	31人（ほか報道機関1人）
4	町出席者	町長、副町長、総務部長、企画室長、建設部長、札内支所長、企画室参事、企画室副主幹

住民

実は昨日も参加した。反対する方が結構いた。札内に庁舎を移転しなさいという意見が多かったような気がした。各論的にも、町の答弁は合理性のないものだった。

自分達の意見は、庁舎を札内にといいたいのだが、今朝、インターネットで、他の人達はどうか考えているのかを聞いた。沖縄、静岡、鳥取、松島、函館、池田、ロサンゼルスに。全部、町の考え方はおかしいと言っている。ロサンゼルスはテレビ電話で話した。

住民

今日で4回目の参加。

新庁舎を建設することは、7月28日の議会の特別委員会で決定した。それは議会の中で揉まれて、決定したことだから、それはそれでよい。

幕別町本町が年々寂しくなっている。応援したいという気持ちで、説明会に参加している。しかし、町民会館の説明会では18人の参加。時間も8時前には終了し、憤慨して帰ってきたところ（本町住民の意識に対して）。

町長を始め、幹部職員で、庁舎の問題は何回ぐらい検討してきたのか。議会の検討回数等は広報で分かるけれども…。

町

配布している参考資料をご覧いただきたい。平成15年からの経緯を羅列させていただいている。

住民

心配なのは、どういう中身を検討してきたのか。

町

皆様にお示しした基本方針（案）を作成するために、委託業務を行ったり、検討作業を行ってきたものであるので、お示ししているたたき台（資料2）を参照していただければと思う。

住民

その時に、専門家の意見や地震に関する勉強会などを踏まえて、資料2にある「現庁舎敷地内に選定します」と判断したのか。たたき台であるなら町民を愚弄している。

たたき台であるならば、2、3箇所の候補地をもって、話し合いで決めるべきであって、既に（建設場所を）選定してしまっているではないか。

「選定」という言葉を使っている以上は、それなりのデータがなかったら「選定」なんてことは言えない。その辺はどうなのか。

町

資料1でお示した検討業務報告書という形だが、設計業者に委託をして、耐震か新築かと合わせて、町内の適当な候補地についても含めた中で、専門業者から報告をいただいている。

住民

それは、答弁にならない。みんな（町民）で話し合っ、議会で話して決めていくことが普通。町長、これが答弁だと思うか。

町

方針（案）で示している場所、現庁舎敷地内を選定としているが、あくまでも検討業務報告書に基づき、職員の専門技術職の意見等も合わせて検討した場所の選定である。あくまでも、たたき台。

住民

議会の特別委員会では、住民の意見を聞くべきとある。これをやっていない町は、議会も軽視しているし、町民を愚弄している。

私は、庁舎を造りましょうという考えである。ただステップを踏まないで進めれば、議会軽視にもなるし、町長の責任問題、幹部職員の責任問題となる。この辺はどう考えているのか。

町

先程来、話があるように広報で周知をさせていただいた。あるいは、議会ともお話をさせていただいた。その前段で、昨年か、専門家に検討業務委託を出して一通りの報告をもらった。それを受けながら、内部で検討して一つの案を作った。

この案を元に、案を作ったので議会でも検討していただきたいと。住民の皆さんにも、この案を配って意見をいただいて、それらの意見を踏まえた中で、この後、内部で検討を進めていく中で最終的な決定をしていくことに。

当然、議会にもお諮りしていかなければならない。今、広報で掲載している、議会でこう決めた。これは、あくまでも内部で資料作成のために、庁舎を建設することを決めた…（分かりましたと、話が中断）。

住民

今後、十分町民と話し合っ、適切な位置に庁舎を建設すればよい。なのに7月の広報では現庁舎敷地内に建設と。議会（特別委員会）の委員長も何を考えているんだ。議会も町のグルだ。おかしい。

議員は、地元の声を良く聞いて、それを議会に上げて議論する。そして採決して実施をする。

（行政は）良いことばかり書いて、悪いことは一つも書いていない。スマイルパークに庁舎を建設した場合、交通弱者にとって利便性が低い？これはどういうことか。教えて。

町

交通弱者とは、自家用自動車を持たない方を想定。スマイルパークは札内駅から遠く、バスは走っているが、本数も限られていることから、自家用自動車を持っている方にとっては苦にならないと思うが、持たない方等にとっては、利便性が低いとしたもの。

住民

それは理屈にならない。

札内にだって開発建設部の道路事務所と河川事務所がある。北海道に一つしかない。そのぐらい認識していないとおかしい。

そういうことは一切書かない。札内農協だってある。郵便局もあるし、帯広信金の札内支店だってある。消防署の出先もある。警察の駐在所もある。色々ある。なのに、何故、スマイルパークに（建設）したらダメだとするのか。

道庁の公園緑地課に聞いた。（スマイルパークに庁舎を建設した場合）原則として、代替公園としての用地が必要となるが、これだけ地震が発生している中で、そこに庁舎を建てたいということであれば、相談にのるので来てと言われた。その辺ちゃんとやっているのか。やっていないのでは。

スマイルパークがダメだということを、どれだけ詰めてやってきたのか。何を調べてやってきたのか。

町

候補地を設定した結果、色々と言わせたもらったが、それはごく一部。おっしゃるとおり、札内にも色んな施設があるが、それぞれが重要なポイントではなく、トータル的に検討したもの。

一番重要なのは、幕別町がこれからどう発展していくのだろう、発展させていくのか、まちづくりの観点から、行政側の考えとして現庁舎敷地が良いのではないかと、選定のたたき台を作ったものとしてご理解いただきたい。決定しているものではない。

住民

建てたいということばかり、立派な事ばかり書いて、役場は何かおかしい。

町

意見は意見として承る。他の方にも質問されたい方がいらっしゃるのでは。

住民

あなた方のやっていることは、公平性がない。6箇所の候補地を調べたというけれど、専門家に聞いた訳でもないし、こんなのたたき台のうちに入らない…。また後で時間をかけて話す。

住民

3点お話ししたい。

一つには、是非、新庁舎を建設して欲しい。基本的な願い。私は帯広市で教員をやっていた。震度4程度で、元々建っていた校舎と増築した校舎が数十cm、震度4でずれた。深夜の地震であったので、子ども達に被害は無かったものの、日中にとすると、どんなに怖かったかと。

震度4と震度5では、とんでもない違いがある。ましてや、全国では震度6程度の地震発生が、通常として話題になっている時代で、築後25年の施設も倒壊している。

役場庁舎の耐震の問題は、そこに勤務している職員の生命にも関わる。そのことからすれば、職員の生命を守る事だけではなく、幕別町全体の中で、倒れそうな施設があれば、そこも手を付けて行って欲しいと個人的に思うし、町民の生命と安全を守るために、行政の立場として努力して欲しい。これが一点。

二つ目は、役場庁舎の位置の問題。札内に住んでいる人が札内に建てて欲しいというのは自然な思いかもしれない。本町の方が本町に建てて欲しいというのも自然な思い。もしかしたら、忠類の人だって、うまく行けば忠類にと思っているかもしれない。これも自然。

ただ、思いだけで建設場所を選んでは、後で感情面で勝った負けたの論理になると思う。そういう論理にしてはいけない。

（現庁舎敷地選定理由として）7点挙げているが（資料2の6ページ）、①と⑥が主な理由という説明だったが、ちょっとこれはどうなのかなと思う。

個人的には、③（農協、消防等の集積）と⑦（防災拠点としての立地性）がとっても大切な要素と思うし、マチの中で役場が本格的に機能してくれて、町民の生活を守ってくれる立場に

立った場合には、何をどう活用していくかが大事なことと思う。

三点目。役場機能の問題。資料の中でメリット・デメリットがあるが、一方では超高齢社会ということと、今はオフィスオンラインの時代になっている。

殆どが、オンラインで仕事ができる時代になっている。実際に超高齢社会であれば足が不自由な方が、役場庁舎へ足を運ぶということが難しい時代になってきている。そこにオフィスオンラインが可能だとなれば、札内支所の方々にも活躍してもらっているが、例えば、この北コミセンで一定の受付業務をオンラインで繋いでいけば、十分に対応が可能になっていくはずだと思う。

超高齢社会に対応した、オンラインを活用した、一番便利な方法だと思うし、(対応が)早くできる方法だと思う。

新庁舎を建設するとなれば、新しい、早い機能が沢山入ってくるはず。最新の工法を活用した省エネルギーも導入されるだろうと思うし、今までのイメージとは違うものが沢山入ってくると思う。

例えば、桜町近隣センターで午前中1時間くらい、役場の何方かが詰めていただいて、高齢者の方々に年金の事とか、必要であれば住民票を交付するとか、受付をしていただければ、もっと助かる。

住民サービスで、きめ細かに、もっと、親切な時代を具体的にしていって欲しいなと思っている。

住民

今日で3回目の出席。私一人でも5つも6つも聞きたいことがあり、一つの課題に対して、掘り下げて話しを聞きたいところではあるが、限られた時間であるので、2点に絞ってお聞きする。

第一点は、札内支所にどれほど職員を増やしていただけるのかということ。今のままの7人体制でいくのかどうかということ。

今更、もう少し拡大するとかということじゃないかもしれないが、一番ここで問題になっていることは防災の問題。

防災ということになると、町の防災計画にある総務班とか経済班とか、福祉班とか、忠類の機構でも7つくらいもっている。そういうことからすれば、数人ではなく数十人、場合によっては、30人くらい増やさないと(対応が)できない。そのためにどうするかという検討を、しているのかどうかということが一点目。

これに対して、私は、何回か町の説明を聞いてると、分庁にするとコストがかかるし効率が悪いという説明。前に聞いたが、安平町は分庁舎で行政をしている訳で、まだ(建物が)古くなっていないから、そこに課を配置してやっている。

私は、早来庁舎の総務課の職員に話を聞いた。早来庁舎には、総務課、税務課、企画財政、それから、住民生活課、まちづくり推進課、農林課、施設課、水道課、会計課がある。課以外では秘書室とか福祉介護相談室とかがある。追分庁舎では、保健福祉課と建設課、その他に総合相談室がある。

私は、課を分けると、大変ではないかと思い聞いてみた。総務課の職員が言っていたことを読み上げると、「追分には人口3,800人、早来が5,000人。部課を分けている。両庁舎間は13kmで、町民の不都合はございません。これは、徹底して、どこにどういう課があるということをお知らせした。窓口業務は両方にあり、ワンストップで対応している。役場サイドからみると、デメリットを取って言えば、集中管理ができない。決裁が少し遅れるという程度で、職員は、合併当時180人で、今は150人である。コンビニとの連携等々を考えて、納税とか住民票発行の合理化を図る。」と言っていた。

また、小さな村の占冠村がある。その村長さんと知り合いだが、〇〇地区に出張所と保育所があり、週に1回は村長が顔を出す。村民に事前に知らせているので、何かあれば、村長はそこに行っているということで理解されている。

集合庁舎が良いとのことだが、一体、分庁とまでならなくても、札内支所がこのままでいいのか、ニーズはどうなんだということを知りたい。

次に二点目。公債費比率と交付税の関係について。今町は195億借金がある。

原案の新庁舎規模、6,000㎡というのは、少し余裕が有り過ぎるのでは。23億をかけて。起債を起こす27年には、195億の借金が150億程度だと。

昨日、副町長は現在黒字であると。安全運転でやっているから、みんな心配するなというような感じで受けとめた。しかし、資料3で庁舎建設をしなかった場合でも、実質公債費比率が14.8。14.8というのは、音更や芽室に追いついていない。毎年10億ずつ返済していく計画は凄いことだと思うが、借入金というものに対する認識論が、民間とちょっと違う。

町は、借入ということに関しては簡単に借りれるかもしれない。民間だと、借入に対する考え方が違う。やはり、生産性が合わない。経営状態が良くないなど、銀行にしぼられる。簡単には借り入れできない。民間と官の考え方が違うと受けとめている。

特例債の問題は、ホームページで調べた。長野市では、「交付税の内訳は分かりません。合併特例債の返済分も含まれているというものの、これまでの長野市の交付税を受け取った全体の額が増えている訳ではありません」と。

鳥取県では、「有利な地方債ということで、地方公共団体が、その制度を運用すれば、普通交付税が格段に増加するはず。過去に景気対策として実施した公共事業の財源として発行した交付税措置のある地方債の返済が本格化してきている昨今、普通交付税総額をみると減少、減額になっている。これは普通交付税の財政需要額が毎年度見直されて、約束した借入返済以外の部分が削減されているからだと考えられる。この現象については、民間で言えば社長から残業しろと言われて、残業し、残業代は100%払ったから、本俸を見直した。と言って削減するのと同じ」という批判がある。

このような例は、正しくないかもしれないが、いっぺんに交付税がもらえることに越したことはないが、年々分割されて入ってくる時に増えることはなく、減ることを考えなければならないと思う。

過日の新聞報道と今回の広報。公債費比率、健全化比率というものが載っていた。我が幕別町は全道179市町村でワースト9位。管内ではワースト1位。

民間で言うと、ABCDEのランクで言うとE。努力して頑張っていたいただいているのも分かるが、非常に罰金ものだと。民間で言うところの、道庁が本店で179市町村が支店だとすると、職員のボーナスカットという措置が必ずある。そんなに甘いものではない。

長くなって申し訳ないが、公債費比率の現状をどう考えるのかということが、第二点目の質問。

それと、庁舎の建設位置の選定は、誘導しているようにしか見えない。多くの人と話してきたが、「そんなのもう決まっていること」と言う方が多かった。どうか一つ、たたき台はたたき台として、原点に戻って、しっかり考えていただきたい。

私なりに勉強して、色々試算してみたが、基準に基づいた5,000㎡が6,000㎡になることは、やはりいただけない。むしろ、5,000㎡を4,500㎡で計算したと、コストを削減して、今の時代借金を増やさないということが、最も時代に即した考え方と思う。以上二点について伺いたい。

町

札内支所の職員配置について。7人の職員がいるが、一部事務補助として臨時職員もいる（実際は正職員（産休2人除く）6人、臨時2人、計8人）。

支所長を中心に、音更の木野支所の業務について視察して、業務遂行について確認をしているが、町では、来年の4月1日を目途に、役場の組織機構を見直そうと内部検討しているところ。

その中で、札内支所の職員の配置、木野支所の配置も参考にしながら検討している状況。

併せて、今後の課題として、札内支所の事務スペースだが、10月からパスポートの受付もできることとなったので、事務所自体が手狭になってきている。札内支所の事務所スペース確保

についても、細部検討しているところ。

防災に対する職員の体制。先の大震災を受けて、国から都道府県、市町村へ各種防災計画の見直しの要請があり、現在の防災計画をどう見直していくかについて、検討している段階。

地方債について。残高が194億。財政運営上の重要課題として取り扱っているところ。

参考に。起債は、地方債は少なければ少ないほど望ましいと言うことは、我々も十分認識している。合併して、減債基金をもっていた。これは、いざ何かあった場合に起債の償還を行い易くするために、その基金を取り崩して、返済していくというもの。この基金は合併当時約11億あった。平成22年度現在は4億。約7億の基金を取り崩したところ。

何のための取り崩しか。これは、平成19年に約4億を繰上償還。平成20年は約2億繰上償還。平成21年度は約2億5千万繰上償還。昨年度は約1億5千万を繰上償還した。合わせて約10億、この4年で繰上償還をしてきた。その財源として、減債基金約7億を支消（ししょう：取り崩し）させていただいた。さらには、起債の借入の抑制、高金利のものの借換にも努めてきたところ。

地方債という制度は、これ自体国が認めた制度。例えば、1千万で道路整備した場合、9百万起債を借りる。何故借りるか、その年の1年間の収支の中で1千万のお金を、現金をボ〜ンと出してしまうことは、財政運営上、厳しい面もあるし不効率という面もある。

百万だけ現金を出す、翌年度から借入した9百万の元利償還金を払う。道路というのは、今後5年後、10年後、20年後に使う幕別町民の方々が使うものだから、後々の方にも一部負担をしていただくということで、地方債制度が成り立っている。

実質公債費比率。収入に見合った支出。当然心掛けないといけない訳だが、有利な起債を活用しながら、住民の負担を軽減する手法を色んな場面で勉強しているところ。

交付税の問題。国税収入からその内の一定のものを交付するもの。国税の収入が毎年景気の変動によって増減する。予算規模の小さい市町村に一定程度の行政水準を確保するために、国が交付税という形で、その財政規模に合わせた状況で交付するもの。

これが、極端に減ることになれば、全国1,700の市町村が財政運営ができないとなると、国の経済も成り立たなくなるので、税制制度の見直しを行いながら、保障をしていくということとお考えになっていただきたい。

合併特例債の交付税について。借りたお金が交付税の中では、どの分だということが分からないのではという話。これははっきりと分かるもの。

基準財政需要額の積算の際に、公債費の項目があり、そこに合併特例債の項目があり、いくら借りて、償還金がいくらだから、その分は交付税で算入すると。交付税の算出資料の中で明示されている。

町

安平町の関係で。安平町は平成18年3月に合併。早来が約6割、追分が約4割の人口規模。人口が均衡していたので、合併するか否かのところでかなりもめたところ。早来庁舎は昭和61年に大きな改修をしている。追分庁舎は昭和54年の建設であるから、両庁舎を使いたいという思いがあった。

庁舎の有効活用ということ、十分に住民の方々に理解をしていただいた上で、分庁舎方式を選択している。

住民は、分庁舎というものがあって、合併に進んだという大前提があることから、住民の方からの苦情は出ていない。視察に行って話しを伺った。

追分庁舎には、健康福祉課があるが、早来庁舎にはない。ですから、早来には住民総合相談室を配置して、健康福祉課の業務も行っている。逆に、早来だけにある総務、企画、税務、住民生活、まちづくりのこれらの業務を補うために、追分庁舎にも住民総合相談室を配置している。

住民の方々があくまでも理解をした上で、その余分のものは引き受けるということで合併した経緯がある。現状、我が町において札内支所には空いているスペースがないので、有効な施

設を活用できるか否か。

それから、住民の方々が理解した上で進めてきた違いが大きいということをご理解いただきたい。

住民

一点だけお尋ねする。新庁舎建設は賛成の考え。

その考えに基づいて…。建てる規模。現庁舎が3,819㎡。福祉課や教育委員会を入れるにしても、一気に6,000㎡。プラス2,200㎡も増えるということは、どういう根拠に基づいて、6,000㎡としたのか…。

逆に新庁舎を建設するのであれば、機能を高めて、高まるから、むしろ今より小さくても良いと。そういった内容で、考えていった方が良いのではと思う。

これからの人口の動向とかを考えれば、公共施設というのは、できるだけコンパクトに、かつ、住民ニーズに応えられるような機能性を高いものにしていくと。

6,000㎡という規模を、さらに詰めて、6,000㎡が現在の規模に近づくような検討の内容を積み重ねては如何かなと思う。

それによって、23億見込まれているものが、建設費用も圧縮できると思うので、町の財政にも寄与していくものがあると思う。

町

現庁舎、約3,820㎡。集約型の庁舎ということをお大前提に説明すると、教育委員会の事務スペースが約250㎡。保健福祉センターの事務スペースは約260㎡。これらを合わせると約4,350㎡になる。一方で、職員数に応じた国の基準で算出したのが5,070㎡。

私達としては、災害時の災害対策本部として活用できるような、普段は分けて使っているが、災害時に一つにして大きな200㎡程度の会議室として使えるような、昨今の流れの中で、町と同じ規模の建設事例等を参考に、たたき台として6,000㎡と出した。

あくまでも、耐震改修した場合の経費と建設した場合の経費を比較する上で、面積を想定したもの。無理に大きなものを、という考えではないことをご理解いただきたい。

住民

聞けば聞くほど、よく分からなくなる。説明は懇切丁寧にされているが、町民としては、難しい、非常に難しい課題。

私達町民は、非常に単純な発想から、町の行政を見ている。今日はこの説明会の参加を20人に周囲に呼びかけてきたが、「どうせ行ったって、決まってるんだも〜ん」「行ったって、しょーないしょっ」と。また、若い方が周りに多いので19時には間に合わないと言っていた。出たいけど、出られないという方が6〜7人いた。思いを伝えられない方が結構いると感じた。

私達は、億という単位の計算はできない。行政の感覚とは違う。若い奥さん方は、何らかの形で将来、増税となりませんか。不安を持っている。

私達は今日、何をお話したらよいのか。何を申し上げれば真剣になって考えていただけるのかが一つ。正直不満をぶつけるしかない。

町長は50年先どこにいる。借金を払えるか。若い方々は借金を払わなければならない。

ですから、なるべく真摯に、金をかけない方法を考えて欲しいということ。糠内だって、どこに建てようとして良い。どこに建てたって住民サービスはできると言ってるんだから。

理事側のあなた方は、20年先、30年先、未来思考で本当にどうなるんだろうと、真剣に考えて。

住民

お宅、資料2をたたき台と思うか。

住民

思わない。私に言われても困るが。

地域の方は素朴。行政側は淡々と説明する。地域に20件でも30件でも良いから、地域を回って。

とにかく借金はしてほしくない。私はこの一点。でも多くの方は「どうせダメだろう」と。嘘ではない。今度、町長、案内する。地域の声を聞く行政でない。

町長は神様。だから、もう一回考え直そうと言えば決まるのではないかと。町民にとって仏様のような行政であって欲しい。

札内に3人増えれば良いとかの問題ではない。個人的には（職員が増えれば）嬉しいが。

努力して、今の案から圧縮していけるような方法、人口の多いところに重きを置いて努力が感じられるよう、政策を進めていただきたい。

町

貴重なご意見いただいた。私も借金することが良いとは思っていないし、庁舎建設に当たっても、できる限り、削減できるものは、削減していきたい。そして、町民の皆様に喜んでいただけるような庁舎となるよう、最大限努力していくことが私に与えられた責務。

説明会開催前に、色んな報道がなされた。広報や新聞で、決まってしまったような表現の報道があったようにも思う。我々からするとそうではないが、見る人が見れば、そう思う方もいる。そういった意味では改善しなくてはならないところもあるだろうと思っている。

今いただいたご意見。将来のために借金を少なくする。さらに、削減する中で庁舎を建設する、皆さんからのご意見をいただく場面もあるだろうし、（地域に）連れて行ってくれるとの話でもあったので、そういったことを十分踏まえながら、対応してまいりたいと考えている。

住民

これで私も3回目。一方的な話ばかりで、意見を伺おうとしていない。やはり町民のためにどうするかということ。基本ができていない。

税金で町を賄っている訳だから、町民を見て行動して欲しい。職員が地域を回ってみれば、意見を聞けば、こんな大きな庁舎を造る必要はない。

お客さんのところに挨拶に行かないと商売にならない。何かあったら、相談してくれだとか。企画室で手分けして出前講座で回ったら良い。行動がない。待つ仕事しかしない。こちらから行かないと教えてくれない。「予算がないから」といつてやってくれない。

私の座右の銘は、原点に立ち返ること。町には理念がない。町民のために汗を流し、涙を流して仕事をして欲しい。原点に立ち返って、考え直して欲しい。

住民

資料に均衡ある発展とあるが、庁舎は50年、60年もつ。10年、15年後の忠類地区、本町地区、札内地区の人口構成はどういった形になっているか。数値を教えて欲しい。

町

総合計画や国の推計した幕別町全体の人口推計はあるが、各地区、市街地の推計は、国から示されていないし、私どもも、過去の数値はおさえているが、地域ごとの人口推計は持ち合わせていない。

住民

では、何の根拠に基づいた均衡ある発展なのか。

町

庁舎建設にあたって、幕別本町地区に建設することが良いではないかとした中に、均衡ある発展を申し上げた。

忠類、札内、幕別の市街地がある。札内は人口7割いて、人口の多いところに庁舎をもってくるのが当たり前だと。こういう意見が強いのは確か。間違いではない。我々も当然、大きな問題だと捉えている。

反面、札内と違って、幕別は人口も減少している。マチ自体が衰退している。そこに庁舎が無くなることによって、さらに拍車がかかるのではと心配している。

庁舎が幕別にあることによって、それに関わって、生活されている方もいる。私は、札内地区の皆さんには、大変ご迷惑を掛けていると思っている。

本町にある庁舎が、老朽化や耐震力がなく危険であるから、建て替えをしたいと。ですから、札内の皆さんに今以上に迷惑を掛けることにはならない。

もちろん、今迷惑を掛けていることは事実だと思うし、さらに、札内支所の機能の充実、あるいは、色々と提言のあったことを踏まえて、サービス向上のために頑張っていきたいと、役場として責任を果たしていくことが当然。

私としては、幕別本町にある庁舎を札内にもってくることによって、何が一番辛いかと言うと、幕別本町の衰退が大きな原因、要因となるであろうと。

なんとか、札内地区の皆さんのご理解をいただけるのであれば、ありがたいと思っている。

住民

今の町長の答弁は、幕別本町に庁舎を建てるということか。ということは、この説明会は何だったのか。たたき台ではない。

町

今、申し上げたのは、内部でたたき台を作成する経緯が、そうであったということ。幕別に建てることを私一人で絶対に決めることはできない。皆さんの意見を更にこれから検討させていただきたいと考えている。

住民

そういう事ではなく、本町の人口減少と、札内の人口増加と、忠類の減少、これからどうなるのかということが分かっているか。基礎資料として。

町

過去のデータということで、国勢調査の人口で申し上げると、昨年平成22年の結果を5年前と比較すると、幕別市街が平成17年で4,460人であったものが、平成22年では4,190人、札内市街が16,813人が17,214人、その他の旧幕別町の農村地区が3,810人が3,518人というように、国勢調査では推移している。

住民

そういうことは、5年後も想像がつく。幹部職員は、幕別本町に家を建てるか。23億の庁舎を建てる訳だから、過疎化するところに、そんな投資ができるか。考え方がずれている。幹部の中で幕別側に家を建てている方がいるか。

この資料の作り方は、本町に建てることを前提としている。投資効果が全くない。ナンセンスだ。

町

意見として受けとめさせていただきたい。

住民

今朝の産経新聞で、町長と対立して、全課長16人が辞めたとの記事。和歌山で。住民のためにならないと言って、全課長が降格の願いを出したと。

あなた方幹部職員は、町長と同じ考えか。池田の人間に見せたけど、これはたたき台ではないと言っていた。決まった事をアリバイ的に説明しているだけ。

町

町長からも申し上げているが、各地区で説明会を行って、ご意見をいただいて、そのご意見を元にさらに検討していきたいと、何度も説明申し上げている。どうか、その点をご理解いただきたい。

住民

行政サービスの基本は、住民に公平感をもってサービスを提供すること。提供し続けるかということ。率直にそう思う。

庁舎の建て替え問題。そういった視点で眺めてみると、忠類は、合併の際に不便を掛けないということで総合支所があり、今日まで来ている。

札内地区の場合は、支所では間に合わなく、本庁まで足を運ぶことに。新庁舎ができるできないに関わらず、札内支所については、若干の職員を増員して、要望に応えることが大切と。

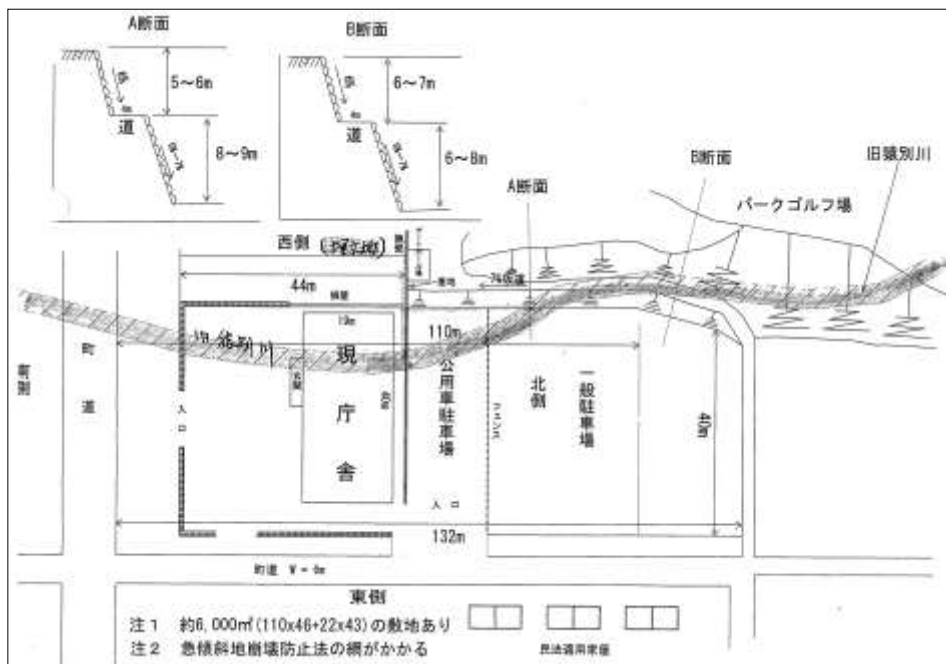
考えてみると、7割の人口の札内地区の人達は、3割の方々のために、7割の方々が多少犠牲になっているという受けとめ方もできるのではないか。

町長も先程、辛い想いでおっしゃったと思うが、現庁舎が本町にあることによって、そこで生業をしている方々がいる。であるが、公平なサービスという視点で物事を考えたとき、庁舎建設の基本をそこに持つことも一つの手法ではないかと。

たたき台であるので、たたき台を見直す際に、検討の中に加えていただければ、大変ありがたいと思う。よろしくお願ひ。

住民

[事前にホワイトボードに描いていた下図で、現庁舎敷地の危険性を説明。]



現庁舎西側の一部は旧猿別川（正式には若菜川）の埋め立て地であり、西側は大地震、大洪水、火災等にも弱い地形であり、崖に近い狭隘地に建設することは不可能である。と。

住民

企画室はこういったことをちゃんと調査しているのか。何故同じところに建設するのか理解できない。どんな設計をしているのか。企画室は町の中核なのに。

町

候補地の中で建設地が決まったとしても、建設に当たっては、その土地の地質、地形、地耐に基づいて設計がなされていくもの。

建設当時は、当時の建築基準に基づいて建設したもので、現在は耐震性に危険があるとの結果であるから、今後は新たな基準に基づいて建設していくこととなる。

住民

他の業者に、2社、3社に設計をお願いする工夫は無かったのか。

町

現在お示ししているものは、設計ではない。あくまでも、今ある構造物の耐震性がどうか、費用がどうなるのかについてなど、比較検討をしてもらったもの。決して、設計をしたものではない

住民

設計を含めて考えるべき。

町

これから基本方針が固まって、その後、実施設計に入って初めて設計となるもの。

住民

役場の（庁舎建設）窓口、相談できる窓口はないのか。

町

窓口は企画室でお受けをしている。常に対応している。

住民

一言言って帰る。大学の、工学部の、都市計画の教授に今日電話を入れた。

「ナンセンス」と言っていた。はっきりと…。

住民

このたたき台は、申し訳に作ったものにしか感じられない。

先程、後ろの方に対する町長の答弁。本町に建設が決まった前提を元にたたき台を作ったようにしか感じられない。

本町の過疎化。これを阻止したいとの答弁。これからの人口推移はある程度想像ができる。そういったことを良く考えた上で、町民の意見を聞いてまとめていくことが本筋。以上。

(了)